



R4年度 発達障害地域支援マネジメント強化事業 実施報告

NPO法人 わくわくの会

発達障害地域支援マネジメント事業

- NPO法人 わくわくの会に委託
- 地域支援マネージャーを配置し、発達障害が疑われる事例や、通常の支援が難しい困難事例等に対応する事業所等支援機関に対し、発達障害に対する理解を深め、困難ケースを含めた支援を的確に実施できるよう助言・指導する
- 困難事例に対応できる支援者の育成を実施し、地域支援体制の整備強化を図る

わくわくの会の具体的な支援内容

- 困難事例に対応できる支援者の育成
- 圏域で抱える困難事例に対する支援
- 支援ノウハウの調整、普及、事例の整理等



地域の皆さんと共に発達障害児（者）の方々とそのご家族が
安心して生活できる地域作りを目指しています

- ① 相談：来所・電話・訪問・支援会議・同行
- ② 居場所の提供
- ③ 自己理解を促す講座
(SST、ストレスマネジメント、アングーマネジメント、就労準備・定着等)
- ④ 余暇支援・イベント
- ⑤ 当事者会
- ⑥ 家族会
- ⑦ 研修（発達障害の理解・サポートノートえいぶる 等）
- ⑧ ペアレントトレーニング、ティーチャーズトレーニング
- ⑨ 資料集の作成
- ⑩ その他

令和4年度相談実績内訳（4月～12月）

*実人数：83人（述べ人数：222人）

性別（実数）		年齢（実数）		相談者（延べ数）	
男	52	未就学	16	本人	92
女	29	小	15	家族	84
不明	2	中	8	相談員	15
合計	83	15～19歳	9	支援員	6
		20代	22	教職員	7
		30代	11	その他	12
		40代以降	2	合計	216
		不明	0		
		合計	83		

診断（実数）	
有り	57
無し	16
不明	10
合計	83

支援方法（延べ数）	
来所	52
電話	102
訪問	2
メール	1
支援会議	1
同行	0
Tトレ	0
Pトレ	6
就労前準備	1
就労定着	2
本人	6
居場所	35
家族会	10
当事者会	4
合計	222

R4年度の重点的な取り組み

～R3年度の課題から～

- 個々のケースを通じて、他機関・地域の支援者と連携しサポートを行う
- サポートノートえいぶるの普及・啓発
- 福祉サービス事業所、保育園、学童等に対して、各圏域の支援者と協働してティチャーズトレーニングを実施し、地域の支援者の育成を図る
- ペアレント・トレーニング、ティチャーズトレーニングの指導者養成研修を実施し、指導者の育成を図る
- がじゅま～る、各圏域の相談部会等と連携し、各圏域での発達障害児者支援の研修を実施する
- 各圏域、市町村で、当事者・家族が安心して集える居場所ができるよう、圏域の自立支援連絡会・市町村自立支援協議会に働きかけていく
- 資料集の作成（パートナー編）

相談での対応

- 想いを傾聴し、不安を軽減、信頼関係の構築
- 十分なアセスメントにより支援の方向性を確認
- 具体的な困りごとに関しては、自己理解を高めて工夫を一緒に考える
- ご本人の困り感や、置かれている環境をアセスメントし、調整を行う
- 他機関（地域の関係機関）との連携、役割分担と地域の支援システムの構築
- 那覇市発達障害サポート事業、沖縄県療育等支援事業、合理的配慮に係る教育支援機器等整備事業と協働し、県全体として発達障害児者や気になる児者への相談を受け、地域の相談員と連携する

相談内容

- ご家族⇒子ども（成人も含む）の特性理解と関わり方についての相談、家族関係の悪化による相談、保育・幼稚園・学校・デイサービス等、日中活動の場の環境調整の相談
- ご本人⇒生きづらさと困りごとをどう軽減していけばいいのか？対応策の相談
- 支援者⇒困難事例となっているご本人やご家族への支援についての相談

居場所

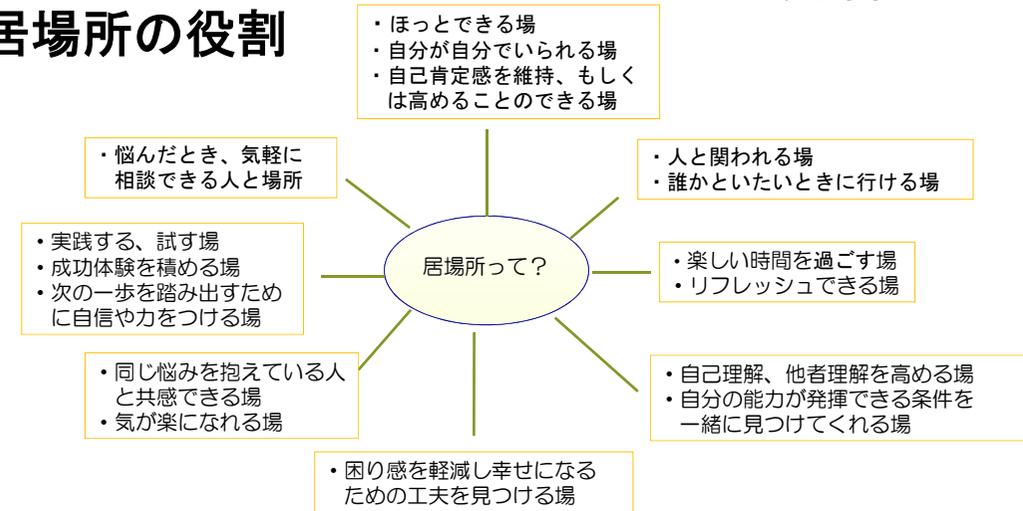
《目的》

- ・自宅以外でも安心して過ごせる場
- ・ゆっくり過ごす場
- ・他者と交流する
- ・リフレッシュ・充電する場
- ・生活リズムを整える・維持する
- ・体力をつける

など

自信を持ち、次の一歩を踏み出せるように支援する

居場所の役割



その人がしあわせになるための環境（ハード面・ソフト面ともに）

「居場所」の効果

- ・幼少期から『人と良い信頼関係を築けた』という体験が少ない当事者にとって、居場所で家族以外の他者と安心して過ごし、かかわれたという成功体験を積めることができた。それが自信に繋がり、自ら次のステップ（仕事やサークルへの参加など）へ踏み出す力になっている
- ・「利用者の方の想いに寄り添う」ことで、ニーズを受け止め利用者が求める居場所の役割や目的に対応することができた。

講座・余暇支援・イベントなど

講座：自己理解を高めるための講座（自分を知ろう、実行機能高めよう、自分の力を発揮して働き続けるために、SSTなど）を実施 就労講座（一般向け・学生向け）

余暇支援・イベント：週1回の余暇支援と年数回のイベントをとおして、リフレッシュ、他者交流、SSTの実践の場として実施（外出、スポーツ、ゲーム、忘年会、遠出ツアーなどの企画、実施、振り返り）

R4年度さぼーとせんたーiから 当事者会年間計画
(フリートーク、しごとーク、女子会、子育てママの会) (言友会)

当事者会・家族会 (ピアサポート機能)

- 当事者会：フリートーク（毎月1回）女子会（年2～3回）しごとーク（仕事をしている方の交流会、年2～3回）新たに「子育てママの会」をスタート

「人の意見を評価しない」を基本ルールとして、安心して参加できるようにしている。今年度は目的別の当事者会を実施した。

- 家族会：月1回実施、ゆんたく会やワーク（ストマネなど）、サポートノートえいぶるの勉強会、グループホーム見学会、体験発表などを開催

	日にち	内容	時間	場所
4月	15日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
5月	19日(木)	子育てママの会 ★	10:30~12:00	未定
	20日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
	28日(土)	しごとーク ◎	18:00~19:30	未定
6月	17日(金)	女子会ランチ ♪	未定	カフェなど
	17日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
7月	15日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
	23日(土)	BBQ	未定	ビーチ(未定)
	19日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
9月	16日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
	23日(金)	しごとーク ◎	18:00~20:00	外食(未定)
10月	21日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
	22日(土)	遠出ツアー	未定	未定
11月	18日(金)	女子会ランチ ♪	未定	カフェなど
	18日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
12月	16日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
	24日(土)	忘年会	未定	未定
1月	19日(木)	子育てママの会 ★	10:30~12:00	未定
	20日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
2月	4日(土)	遠出ツアー	未定	未定
	17日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)
3月	23日(木)	しごとーク(ランチ会) ◎	11:30~13:30	i相談(三原)
	17日(金)	フリートーク	18:00~20:00	iから(首里)

R4年度 さぼーとせんたーiから 家族会年間計画

	日にち	内容	時間	場所
4月	25日(月)	ゆんたく会	13時半~15時半	さぼ(三原)
	25日(月)	ゆんたく会	19時~20時半	iから(首里)
5月	23日(月)	えいぶるについて勉強会	16時~17時半	iから(首里)
	23日(月)	えいぶるについて勉強会	19時~20時半	iから(首里)
6月	27日(月)	生活の事いろいろ	16時~17時半	iから(首里)
	27日(月)	生活の事いろいろ	19時~20時半	iから(首里)
7月	25日(月)	グループホーム見学ツアー	未定	調整中
8月	29日(月)	働き方いろいろ	16時~17時半	iから(首里)
	29日(月)	働き方いろいろ	19時~20時半	iから(首里)
9月	19日(月)	「今働いています！」(当事者)	未定	iから(首里)
10月	24日(月)	ゆんたく会	16時~17時半	iから(首里)
	24日(月)	ゆんたく会	19時~20時半	iから(首里)
11月	28日(月)	後見人・税金・遺産相続などについて(専門家)	未定	調整中
12月	19日(月)	ワーク①ストレスマネジメント	16時~17時半	iから(首里)
	19日(月)	ワーク①ストレスマネジメント	19時~20時半	iから(首里)
1月	23日(月)	新年会(ゆんたく会)	未定	検討中
2月	27日(月)	職場見学ツアー	未定	検討中
3月	27日(月)	ゆんたく会	16時~17時半	iから(首里)
	27日(月)	ゆんたく会	19時~20時半	iから(首里)

★さぼーとせんたーiでは、毎月一回不登校の子を持つ親のゆんたく会を実施

家族会

- さぼーとせんたーiからが設立した年に家族会もスタートしたので、今年で13年目に入る。1回目から参加されているご家族の方から新規で参加している方まで。ペアレントトレーニングを受けた方も多い(フォローアップとしての機能もあり)

内容は、参加者のニーズに合わせたものになっている。「親亡きあと」の不安や心配は尽きない。「親として今にできること何か？」を自分に問いかけながら子どもの自立と幸せを願っているご家族のみなさんが集い、学び、ゆんたくを通して、励まし支え合っている会

★「他では話せない、わかってもらえないことをこの場では話せて気持ちが楽になる」「親が知識や情報を得ることで見通しがもて、安心して子どもに関わることができる」などの感想が多く聞かれる

研修・ペアレントトレーニング（Pトレ） ティーチャーズトレーニング（Tトレ）

- ・地マネ事業だけではなく、那覇市発達障害サポート事業や、沖縄県療育等支援事業・合理的配慮に係る教育支援機器等整備事業などと連携し、研修・ペアレントトレーニング（Pトレ）・ティーチャーズトレーニング（Tトレ）を実施し、地域の発達障害児者や気になる児者にかかわっている支援者の育成を進めている
- ・R4年3月：Pトレ・Tトレの指導者養成講座を企画実施（オンライン）その後、定期的に連絡会を開催し、フォローアップを行っている
⇒北部・離島の支援者向けに、オンラインでのTトレを実施
- ・R5年3月：フォローアップ研修を開催予定（オンライン）

課 題

- ・各分野の支援者の人材育成：不適切なかわり方で、二次障害につながっているケースがある（克服するという考え方）、本人支援（発達支援）・家族支援・地域支援の視点が不足している
- ・地域の支援システムの構築について：各圏域の人材育成（支援者のスキルアップ）のための具体的な取り組み方（手法）の検討が必要⇒例えば：各地域の支援者が繋がり、多職種が集まったの定期的な事例検討の場を作り出す等の仕掛け等
- ・市町村により、発達障害児者の支援について差がある⇒どこに住んでいても、同じように支援を受けられるような体制の構築（支援者の育成）

各市町村との連携

- ・個別のケースを通じて、市町村の委託支援事業所と連携し支援を実施し、支援者の育成を図る
- ・支援を通して見えてきた課題を、地域の支援者と共に支援体制を考えている
- ・市町村や圏域・県の自立支援協議会に参加し、それぞれの課題を共有
- ・チラシを作成・配布し、本事業の目的や内容を多くの支援者に知ってもらい、活用できるようにした

課 題

- ・身近な地域で安心して集える居場所・身近な地域で交流できる当事者会が少ない⇒地域の支援者と協働して、身近な地域の中に居場所・交流できる場を増やす
- ・就労支援をすすめる中で、実習先や就労先を探すことが困難なケースが多い
- ・地域のパーソナルサポートセンターや、地域若者サポートステーションと連携しながら就労支援を進めている方もいるが、スムーズに就労につながらない
- ・手帳を持っていない方は、クローズで働いている場合が多く、職場の理解が得られず、失敗体験の積み重ねで自信を失っていることが多い
- ・診断・手帳の有無にかかわらず、支援を必要としている方に必要な支援が届くようなシステム（企業の理解促進、手帳の有無にかかわらずお互いの違いを尊重でき助け合うしくみ等）を作ることが必要